

第 16 回定例理事会議事録

日 時：令和 4 年 3 月 9 日（水） 19：30～21：29

場 所：ハイブリット会議

《出席理事及び幹事》

【理事】長井博昭、岡崎正史、谷村秀樹*、西辻直之、安藤真一郎、立花智子、上谷公之、松田耕平、中川聡、
牧野寛、池田一郎、片倉修、斉藤淳、小笠原聖子（*はリモート参加）

【監事】木村充、矢島正隆

会長：議長を安藤理事に指名

（1） 開会 議長：安藤理事

安藤理事により 19 時 30 分、第 16 回理事会の開会が宣言された。初めに藤岡信君が自己紹介された。安藤理事は定足数の充足を確認の上、議案の審議に移った。

（2） 会長挨拶

「こんばんは、新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置が 21 日まで延長となり、困難な状況の中説明会・講演会などの準備ありがとうございます。今日は協議に重きを置いて行いたいと思います。現在新型コロナウイルス感染症対策による過労から、保健所長がダウンしてしまい休職中です。今のところ予防課長が代理を務めており、事業は例年通り開催する予定ということです。歯科保健事業推進協議会も予定通り開催する方針で、厚生労働省歯科保健課小倉様のお話を聞く機会があるようです。内容については後日ご報告したいと思います。また 10 年前に西塚課長がたてた口腔保健の目標を達成するために協議を重ねていますが、そこで三歳児健診の健診率アップに向けて、診療所で健診した場合に費用を補填する案が出ております。こちらについての報告も今後させていただきたいと思います。本日もよろしくお願いたします。」と長井会長より挨拶があった。

（3） 報告事項

業務執行理事より各業務状況の報告がなされた。事業内容及び担当理事ごとの報告内容詳細は以下の通り。

① 母子学校保健・お口の健康フェスタ・区民まつり：谷村副会長、立花理事

・健診、休日診療の登録申し込みは、回答数 142 名（210 名中）、健診申し込みが 83 名（次年度健診回数 108 回）、休日診療申し込みが 77 名（次年度の休日 72 日）であった。

② 成人保健・口腔がん検診：西辻副会長、上谷理事

【成人保健】

・2 月 9 日（水）リーブラにて港区健康講座を開催した。講師は三穂委員長。参加者は 16 名。テーマは「オーラルフレイルって何だろう～人生、歯も 100 年時代～」

【口腔がん検診】

・特になし

③ 医療福祉・地域医療連携：松田理事

・特になし

④ 災害医療・医療管理常任委員会：牧野理事

・2 月 25 日（金）19 時 30 分から、本会会館にて臨時災害医療・医療管理常任委員会を開催した。

✓ 携帯型発電機（災害医療用）のデモ及び使用時の注意点を確認した

✓出席者は手塚委員長、西原副委員長、古藤委員、中川委員、北澤委員、高橋委員、牧野担当理事であった。

- ・災害医療用基本セット（ディスポ）及びポータブルユニットの発注を行った。納品は4月中旬の予定。
- ・身元確認用のデジタルエックス線装置を発注した。3月15日の委員会で業者より使用方法及び注意事項のデモをお願いしている。

⑤ 学術：中川理事

- ・特になし

⑥ 広報：谷村副会長、池田理事

- ・特になし

⑦ 総務・会計

【総務】岡崎副会長、斉藤理事、片倉理事

- ・令和4年3月7日（月）19時30分から、本会会館及びリモートにてホームページ検討会を開催した。協議内容は新ホームページの拡張機能の検討、旧ホームページの閉鎖及び仮ホームページの運営についてであった。

【会計】斉藤理事

- ・3月7日（月）、川端会計事務所の山中さんと、打ち合わせを行った。

(1) 東京都公益法人担当の会計担当に、山中さんより電話問い合わせてもらった。

- i. 収支相償を3年以上満たさなかった法人への対応策について昨年末照会したが、回答が不十分。公益余剰金が約800万円累積しているにもかかわらず、解消できそうな具体的内容の記載がなかった。

公益法人取り消しとまでは言えないが、厳しい処置をとる必要もあるかもしれない。

- ii. 特定費用準備資金について。令和3年度決算で積み立てるのであれば、年度内に、事業ごとに別表C(5)特定費用準備資金への記載と見積書の添付が必要。

時間もないので、規程も含め理事会で承認を取る前にチェックしたほうがスムーズと思う。

提出に際しては公益FAQを参考にしてほしい。

(2) 令和4年度予算書、什器備品の減価償却、特定費用準備資金について打ち合わせした。

- ・会計報告

✓正味財産増減予算書について説明

⑧ 保険：小笠原理事

- ・東京都歯科医師会より以下のお知らせが届いた

(1) 磁性アタッチメントに関するE-system教材等について

(2) 地区歯科医師会主催の保険講習会について（お伺い）

(3) 令和4年度診療報酬改定時における集団指導の取り扱いについて

(4) 地区保険講習会の資料発送について

・保険講習会について、まん延防止等重点措置延長につきWebで配信することに決定した。施設基準の説明を入れる場合、YouTubeでは認められないが、Zoomのクローズ配信なら施設基準のための講習会として認められるようなので、QRコードを読み取り視聴確認のパスワードを返信する形式で行う。

⑨ その他：口腔がん検診委員会片倉委員長より口腔がん検診関係の書籍「歯科クリニックで見逃してはいけない口腔粘膜疾患」紹介があった。

⑩ 3月18日（金）19時から、会務事業研究会が勤労福祉会館で行われる。19時から地区部会長会で

19時30分から会務事業研究会。

(3) 決議事項

- ① 「お口の健診」「すこやかちゃんフッ素塗布」登録説明会のお知らせについて (P.4) →賛成過半数で承認
 - ・Faxにて告知する。
 - ・新規登録は4月7日麻布区民センターにて行う。
 - ・動画は60分ほど。
- ② 新入会員書類審査 (1件) →賛成過半数で承認
 - ・岩田親子君
- ③ 新入会員承認 (2件) →賛成過半数で承認
 - ・中村彩華君、藤岡信君
- ④ 診療所廃止届 (1件) →賛成過半数で承認
 - ・堀内信子君
- ⑤ その他

(4) 協議事項

- ① 新ホームページの機能について
 - ・第15回定例理事会で「新しいホームページでは現行のものより機能に拡張性を持たせ、アドバイザーの谷津氏にご紹介くださる業者を第一候補に交渉を進める。拡張機能については検討会で練る。」ということが承認されたが、拡張機能について3月7日(月)のホームページ検討会で話し合われたが、理事会の場でも内容のご理解をいただくことが必要という意見があり、各理事からご意見を頂くために提案した。(片倉理事)
 - ・現在谷津氏から頂いているイメージとしてスケルトンと見積り業者比較表を提示した。(片倉理事)
 - ・「当初谷村先生のイメージに近い。今のホームページを回復することが優先だと思う。」(牧野理事)
 - ・「当初の見積りの半分になっているので良いと思う。現在のホームページでは閲覧は見込めないが、このアイデアならみんな使うのではないか。」(池田理事)
 - ・「使いやすいとは思いますが、お知らせでさえ見ない人がいるので、インターネットに不慣れな会員にとっては難しいと思う。」(立花理事)
 - ・「現在郵送しているお知らせをホームページ上での配信に切り替えると良いと思う。」(安藤専務)
 - ・「ホームページを見るというのではなく、使うという意味で良いと思う。慣れるまではトラブルはあると思うが、具体案を見てとても良いと思った。」(上谷理事)
 - ・「最初一年間は使用方法の相談先が必要になると思う。」(牧野理事)
 - ・「使うホームページを作るという意味で、とても良いと思う。なるべく使いやすいように、これを進めてほしい。ポイント獲得が学校歯科医になる条件になるようにすることもできることになる。」(矢島監事)
 - ・「どういったフォローをしていくかが大切。何人かの会員には出張説明も必要かと思う。ケアする体制の構築も今後課題となる。」(西辻副会長)
 - ・「検討会で出てきた5パターンの見積りの中でなぜこの案を採択したかを説明してほしい。」(岡

崎副会長)

- ・「こちらはまだ要件定義の段階で、業者を決定したわけではない。」(片倉理事)
- ・「すごく良いものができるというのは分かるが、歯科医師会のホームページにこの機能が必要かという議論が必要」(谷村副会長)
- ・「例えば月 30 万円かかっているお知らせの輸送費がなくなるだけで、一年でペイできる額ではないか？」(片倉理事)
- ・「ペーパーレス化は難しいと思う。」(牧野理事)
- ・「当初、仕事を楽にするだけの 600 万円は必要ないと思ったが、自分のことを管理できるのであれば今は良いと思う。」(上谷理事)
- ・「良いものができるというように思う。学会ホームページでも会員のログイン機能がついている、口腔外科学会のホームページは使うようになる。会員の利便性がアップするということで意味がある。」(中川理事)
- ・「委員会で揉んだら分かりやすいと思う。」(立花理事)
- ・「理事会ではどこまでの機能が必要かということを議論すると良い。」(矢島監事)
- ・「金額ありきの話である。」(谷村副会長)
- ・「今となっては賛成派となった、全く見ないホームページに 200 万円は高いが、300 万円で有意義なものであれば良いと思う。」(池田理事)
- ・「今は会費を下げるとかというご時世に、これだけのお金をかける必要があるかということが重要。」(谷村副会長)
- ・「会員に響くものでなければいけない。会員への周知が必要と思う。」(牧野理事)
- ・「検討会では十分に議論されていると思うので、検討会に差し戻さないでいただきたい。理事会が判断するべきものとする。」(矢島監事)
- ・「次回理事会で決議事項に上げる。」(安藤専務)

② 特定費用準備資金等取扱規程(案)について

・公益法人として果たす必要があるのは、(1) 事業の半分以上を公益事業とすること、(2) 遊休財産が公益事業年度予算額を上回らないようにすること、(3) 収支相償の 3 つである。収支相償とは毎年の決算において 3 会計のうち公益目的事業会計の当期一般正味財産増減額がマイナスにならないといけないということ。本会は令和元年から連続して公益目的事業会計が黒字となっており、昨年度までにおよそ 800 万円の累積がある。そこで今年度、公益事業を増やす目的で、「休日お口の電話相談室」など新たな試みを行ってきてはいるが、単年度で収支相償を達成するのは無理がある。そこで特定費用準備資金を積み立てることによって単年度で収支相償を達成しようと思っている。そのためには特定費用準備資金等取扱規程が必要なためその案を用意した。今年度中に特定費用準備資金等取扱規程が承認され、特定費用準備資金をいくつか承認してもらえるように準備したい。特定費用準備資金として積み立てる項目としては以下の 3 つをとりあえず用意した。

I. 会館通信設備に係る特定費用準備資金積立

II. 周年事業に係わる特定準備資金積立

III. ホームページに係わる特定費用準備資金積立(以上長井会長)

- ・「積立金を作るのに、現在取り掛かっている事業に対して積立てるとするのは違和感があると思う。」(上谷理事)
- ・「周年事業は公益事業として認められるか? 災害備品は入れられるか?」(牧野理事)
- ・「友人からアドバイスとして過度な心配はいらないようである。理事はもっと勉強してほしい。」(谷村副会長)

・「特定費用準備資金等取扱規程は一度都の担当者に見ていただくが、次回理事会で承認いただきたい。」（長井会長）

・「次回理事会までに他の積立項目について提案してほしい。」（長井会長）

③ その他

・Zoom アカウントを取ったので、詳細は次回の理事会で報告する。（上谷理事）

(5) 閉会

以上をもって議案の審議が終了したので、21時29分、議長が閉会を宣言した。

議事録署名人

長 井 博 昭

木 村 充

矢 島 正 隆